

# 宮城県感染症発生動向調査情報

2020.8.31 ~ 2020.9.6 - 第36週 -

令和02年09月10日発行

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第33週	第34週	第35週	第36週
水痘		3 0.30			1 0.33			2 0.07	6 0.10	458				
流行性耳下腺炎								2 0.07	2 0.03	86				
感染性胃腸炎	8 2.00	17 1.70	1 0.20	5 2.50	6 2.00	3 0.60		49 1.81	89 1.53	4,914	○	○	◎	◎
手足口病	1 0.25	1 0.10						2 0.07	4 0.07	366				
伝染性紅斑									0 0.00	164				
突発性発しん	6 1.50	4 0.40	10 2.00	1 0.50	3 1.00	4 0.80	2 1.00	12 0.44	42 0.72	997	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	51				
インフルエンザ									0 0.00	7,748				
咽頭結膜熱	2 0.50			2 1.00				9 0.33	13 0.22	409				
流行性角結膜炎									0 0.00	55				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.25	3 0.30	1 0.20	1 0.50		7 1.40		9 0.33	26 0.45	3,450				○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				3 3.00					3 0.25	183				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症									0 0.00	407				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	2				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1											
	川崎病													
	不明発しん症							1						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 0例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性1名  
仙南管内 男性1名  
仙台管内 女性1名  
結核(無症状病原体保有者)  
塩釜管内 男性1名(第35週)  
大崎管内 女性1名  
仙台管内 男性2名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 女性2名(O157 第35週)  
大崎管内 女性1名(O157 第35週)  
仙台管内 男児\*1名(O26 第35週)  
女性1名(O157)

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症: カルバペナム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 男性1名(Enterobacter cloacae)  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
栗原管内 女性1名(第35週)  
侵襲性肺炎球菌感染症  
仙台管内 女児\*1名(第35週)  
梅毒  
仙台管内 男性2名(第35週)

指定感染症: 新型コロナウイルス感染症

塩釜管内 男性6名、女性2名  
仙台管内 男性1名、女性6名(第31週)  
男性1名(第32週)

※男児、女児は6才未満

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

新型コロナウイルス感染症患者より

塩釜管内 第36週採取分 SARS-CoV-2 3件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	中 間 報 告		
	確 定	第34週採取分	第35週採取分
ライノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	2件	0件
	(8.10~8.16)	(8.17~8.23)	(8.24~8.30)

## 4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、県内では塩釜、大崎ならびに仙台管内で報告があり、代表的な血清型であるO157及びO26が検出されています。主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では、溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあるため注意が必要です。汚染された食物を摂取することで感染するほか、患者の便の中に排出された細菌を、手指や水などを介して摂取することで感染することがあります(家族内感染等)。高温・多湿が続いていますので、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

【新型コロナウイルス感染症】

県内の感染者数は9月9日現在の累計で267例となりました。この感染症は、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ(倦怠感)や味覚・嗅覚障害を訴える人が多いと報告されています。引き続き人と人との距離の確保、手洗いなどの手指衛生、マスクの着用、3密(密閉・密集・密接)を避けるなどの基本的な感染対策を心がけてください。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

